

施策5 安全で多機能な教育環境づくりの推進

子どもたちが、健全な教育環境の中で、安全で快適な学校生活を送れるよう、施設や環境の整備を充実していきます。

詳細施策5-1 安全・安心な学校づくり ～高いセキュリティと災害に強い施設～

●現在の状況は

子どもたちにとって、学校は学習の場であるとともに、一日の大半を過ごす生活の場でもあります。そこで、ゆとりある学習空間を整備することに加え、より安全な学校づくりが求められています。

●これからの取り組みは

1 より高いセキュリティを確保した学校づくり

職員室をはじめとした諸室の配置の工夫や防犯カメラの設置、昇降口の集約化など死角の少ない学校づくりを行います。

また、回遊性のある動線やオープンスペースを活用するなど、安全な避難経路の確保にも努めるほか、歩車区分の明確化にも取り組みます。

2 災害に強い施設づくり

新しい施設はもとより、既存施設についても補強工事を実施するなど、十分な耐震性能の確保に努めます。

また、多くの学校は避難所として指定されていることから、スロープや手すりなどバリアフリーに配慮するとともに、多目的トイレやシャワー室、更衣室、耐震貯水槽の設置など避難所機能の強化に取り組みます。



詳細施策5-2

多様で弾力的な活動を可能にする学校づくり

～オープンスクール*化と可変性のある学習空間～

●現在の状況は

閉鎖的な教室空間や通路でしかない廊下など、使用形態が固定化される傾向にある学習空間から、チームティーチング、個別学習、少人数学習、グループ学習、複数学年による学習活動や学習成果の発表などに対応できる学習空間が求められています。

●これからの取り組みは

1 開かれた学校・多様な学習形態への対応、弾力的な集団による活動を可能にする施設づくり

教室の仕切りがなく、オープンスペースと教室が有機的に連携する、いわゆるオープンスクールにも取り組みます。

2 可変的で有機的な学習空間の整備

多目的室の設置、可動式家具の導入、IT機器の導入などにより、可変的な学習形態を促します。

また、プレイグラウンド・中庭・オープンデッキなど様々な性質の外部空間を設け、教室などの内部空間を補完するとともに、豊かな生活の場を目指します。

詳細施策5-3

地域性を発揮させた学校づくり

～特色のある学校施設整備～

●現在の状況は

画一的な学校づくりから、地域に根差し、地域と連携した施設整備が求められています。

●これからの取り組みは

1 地域・学校周辺・学校敷地の特徴を生かした特色のある学校施設整備

全面改築など大規模な学校施設整備においては、地域の歴史・文化・特色に出来る限り配慮した計画とします。また、そのために地域の意見を参考にします。

2 地域開放型の学校づくり

学校施設の改築にあたっては、休日や夜間に地域住民が生涯学習活動を行えるような地域開放型の学校をつくります。

また、学校支援センターなど、保護者や地域住民が自主的に利用でき、学校運営に関わることのできるようなスペースを整備します。

詳細施策5-4

環境にやさしい学校づくり

～永く使え、省エネルギーな学校づくり～

●現在の状況は

ショートサイクルなスクラップアンドビルド*から、永い使用に耐えられる施設づくりと快適でありながらもエネルギー消費を抑制する施設づくりが求められています。

●これからの取り組みは

1 ランニングコストに配慮し、高耐久・高規格な施設整備

屋根や外壁については20年以上雨漏りしないような高耐久・高規格な仕上げにするなど維持管理しやすい施設をめざします。躯体*についても耐用年数80年以上の構造設計とします。

また、床や壁に木材を使用するなど、環境と人にやさしい教室づくりを努めます。

2 省エネルギーの推進

外断熱や複層ガラスなどの断熱化や省エネルギー型の設備機器の導入や屋上緑化など省エネルギーに努めた施設づくりを推進します。





2007年度（平成19年度）に竣工した中央小学校



耐震補強施工後の普通教室